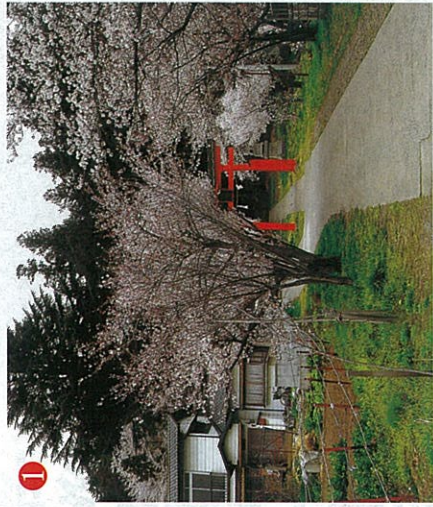


四季折々の自然、 展望・史跡ウォッチングを楽しみながら あなたに合ったコースを歩いてみよう!



1

蚊田八幡宮
この神体は神功皇后が朝鮮征伐の折、折肌身に尊せられた鎮座石である。後に八幡太郎源義家が鷹巣討伐に際して八幡大神として御中に奉戴して勝利した。12世紀に鎌倉幕府の地頭職としてこの地に赴任した義家の孫、源頼隆が社殿を創建してこの霊石を奉納した。

5月5日の舟大祭には在久間象山堂の山車の大輪が立ち、伝説の相撲大会などもあり境内は若狭若狭女で賑わう。



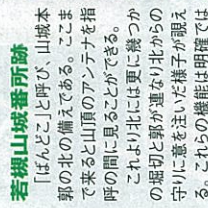
2

若狭山本郷跡 (長野市指定文化財)
12世紀にこの地に赴任して若狭氏を名乗った源朝隆が構築したと伝えられている。その後室町から戦国期にかけて増改築がおこなわれた。主郭と付随する五つの郭群の根拠は拵群であり、北側の大小の堀切と中核土塁など大掛かりな山城である。遺構は古くは古くは、残存状況が良く山城の典型を示し、歴史的価値を有している。



3

若狭山城本郷跡 (長野市指定文化財)
12世紀にこの地に赴任して若狭氏を名乗った源朝隆が構築したと伝えられている。その後室町から戦国期にかけて増改築がおこなわれた。主郭と付随する五つの郭群の根拠は拵群であり、北側の大小の堀切と中核土塁など大掛かりな山城である。遺構は古くは古くは、残存状況が良く山城の典型を示し、歴史的価値を有している。



4

若狭山城番所跡
「ばんど」と呼び、山城本郷の北の備えである。ここま呼ぶ間に見ることが出来る。これより北には更に幾つかの堀切と郭が連なり北からの守りに意を注いだ様子が窺える。これらの機能は明瞭ではないが、甲斐合戦に際して後継やその北部の屋敷の動静を探り「ばんど」でノロクにより本隊に通報したのではないかと、とも思われている。



5

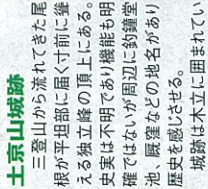
空松地蔵
土京山の西、釣鐘堂山の西北麓に穏やかな表情でたたずむ地蔵が祀られる。かつてはここに弘の大木があり、上部の枝が空松と云わがおり地蔵様を風雨からお守りし空松と言われていたが、残念な事に平成初年に枯れて現在は大きな切り株がお地蔵さんの裏にその跡を留めている。
昭和28年までにはここから北に伸びる道の突き当りに円電寺という古刹があり、参道として賑わった。

山千寺 (長野市指定文化財)

山千寺は天文12年(1543)に戸隠山朝光寺の末寺として開基された。焼失したが、武田信玄家臣丸千重久が本尊を奉戴して観音堂を建立した。観音堂は見上げる重の上に石垣を組み入母屋造りの堂に縁を張り出し、京都清水寺を模した懸造りであり、棟落造りである。



7



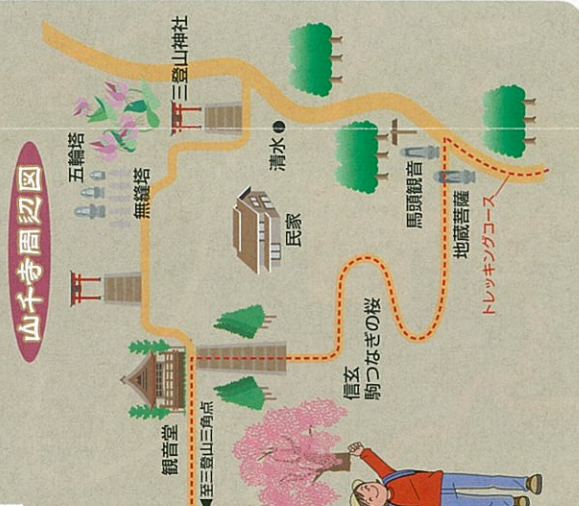
8

土京山城跡
三登山から流れてきた尾根が平田部に屈く寸前に巻く。甲斐立峰の頂上にある。歴史は不明であり機能も明確ではないが周辺に釣鐘堂池、隠置などの地名があり歴史を感じさせる。城跡は本立に囲まれているが、かつては眺望に富む所と云われた。はるか北の野山城と西の若狭山城を中継するノロク台の可能性も捨てきれない。

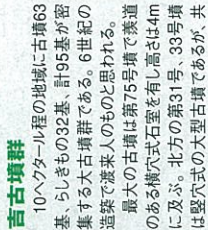


9

観音堂を見上げる広場にたはれた松の大樹があり、甲斐立峰の頂上を参り折廻りして武田信玄が参前し、馬を繋いだのだと「信玄駒つなぎの松」と言われている。
観音堂の東側の、歴代住職の墓塔が並ぶ。周辺や西側のコース沿いはカタクリの群生地であり3月下旬にはその可憐な花が目を惹きつけてくれる。



山千寺周辺図



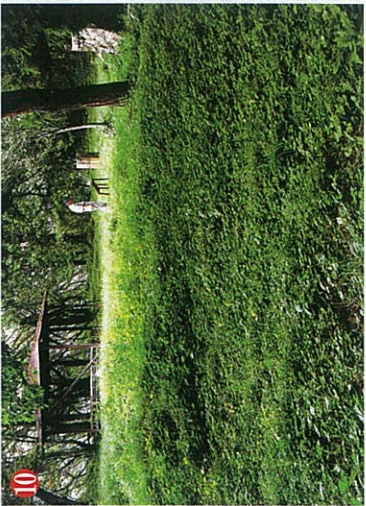
10

吉古墳群
10ヘクタール程度の地域に古墳63基、らしきもの32基、計95基が密集する大古墳群である。6世紀の遺跡で遺構もものとも思われる。最大古墳は第75号墳で築造のある横穴式石室を有し高さ4mに及ぶ。北方の第31号、39号墳は横穴式の大古墳であるが、共に2回掘りの石室を持つ。コースに近い第3号墳の横穴式石室の奥壁には合掌している座像の線刻があり注目される。



11

野山観音清水
野山城に出現した上杉謙信が水を求めて井戸を掘らせたり兵を養う水量がなく、守り本陣として大切にしていた黄金の千手観音像を投じて折廻したところ、こんなに清水が湧きだした。
その後村人が泉のほとりに堂を建て、泉からすくい上げた観音様を奉ったが、いつかお堂も倒れ観音様は村のお寺に移したとされるものの現在その行方は不明である。



12

野山城跡
歴後から川中島への遠征を断る地に有り、上杉勢の拠点であった後に武田勢に占領された。北から西にかけて戦国の遺構が多く残る。南と東は急峻な地形であり近年の探石跡が見られる。本郷内に一等三角点、警神社、抜け穴と言われる凹地などがあり、北側にはカタクリのお花園がある。南麓の宇佐美沢は上杉軍の後退に際し、勇将宇佐美定行が武田軍の攻勢を死守した所と伝えられる。



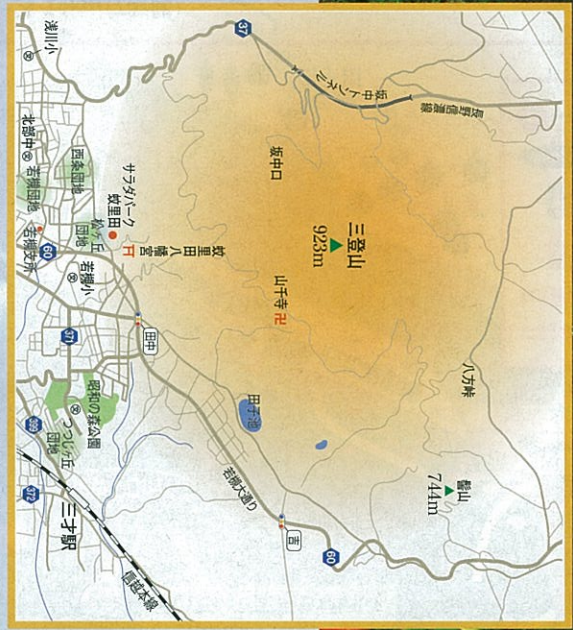
山頂付近のVIEW POINTから

善光寺平を見下ろす三登山、髻(もどり)山は、戦国時代は北国街道沿いの要衝でした。往時をしのびながら山城跡をめぐる歴史散策コースです。

三登山 923m

かどやま

わかつき



このコースは、若槻地区のみなさんによる三登山トレッキングコース愛護会によって
護られています。

お問い合わせは...

長野市産業振興部観光課

phone 026-224-5042

http://www.city.nagano.nagano.jp/

e-mail: kankou@city.nagano.nagano.jp

ながの観光コンベンションビューロー

phone 026-223-6050

http://www.nagano-cvb.or.jp

e-mail: omtenashi@nagano-cvb.or.jp

三登山トレッキングコース愛護会 (長野市若槻支所内)

phone 026-296-3908



この印刷物は、大豆油の圧搾かすを原料とし、印刷時に大豆油の圧搾かすを100%再生素材として使用しています。

市街地から北を眺めて
アテナのある山が三登山です。

カタクリの群生、満開の桜、頂上付近のツツジ、山ぼうし、また、山麓のリソソコなど、四季折々の表情を楽しむことができます。

